



審査委員特別賞

講評： この作品は、大阪市内の古い長屋が密集する一角にある。築95年という4軒長屋の角にあるこの家の住人は、長年ここで立ち飲み酒屋を営んできた高齢の夫婦である。引退に伴い、6人の娘達が施主となって減築リフォームしたものである。

設計者は、まず濃密な生活感のある長屋街の景観をこわさないことを意識したという。外壁の黒白色の並べ方や、裏側の低い黒塀、奥の古い家屋を取り去って大きく空間を開けたことなどが、周辺への配慮の表れである。

特に、広い庭を造り出したことは大きな効果を生んでいる。この家は三方が路地に面しているため、様々な方向からこの庭の上に開く青空や、風にそよぐ中木の葉先を眺めることができる。潤いのある都市空間を創出しているのである。この庭は、新設された浴室からも大きなガラス窓を通して楽しむことができる。ウッドデッキの上で寛いでいると、都会の真中にいることも忘れてしまう。

今後車椅子を使うことも想定して空けられた黒塀の木戸と、可動のデッキスロープは、本人達だけでなく近所の人達も気楽に使いそうである。夫妻が築いてきた地縁を損なわない優しい工夫といえる。

内部にも暖かな工夫は溢れている。夫は若い時からの洋画ファンで、長年取りためたビデオテープがあるのだが、設計者はこれらを真直に置いてすぐに手にできるような収納家具などを考えた。様々な方向に棚が引出され、スライドし、回転する様はからくり人形のように痛快である。施工者が家具工事の専門職であったため可能になったのだが、内装全般に渡っても破綻がなく気持ちが良い。また旧店舗で使っていた品々(看板やポスター)を色々な所で再活用しており、来客の目も楽

しませてくれる。台所に使われた分厚いカウンター板は、かつての立ち飲み空間を彷彿とさせ、思わず微笑んでしまう。大きな吹抜のある居間の高窓からは、月や星、雲の流れを見ることができるなど、流れてきた時間を感じさせてくれる内部空間である。

高齢者や介護のためのリフォームというと、緊張した空間になりがちだが、この家は、高齢になっても元気で楽しく暮らそうという気持ちにさせてくれる。

一住戸だけで完結しがちなリフォームが、都市空間にも大きな影響を与え得ることを具体的に示し、高齢の住人に元気と潤いを与える空間を実現したこの作品の意義は大きい。細かい箇所での詰めの甘い所もあるのが難点だが、審査委員特別賞として特に顕彰する価値がある。



リフォーム前後の写真



①リフォーム前 北側外観



①リフォーム後 北側外観



②アプローチから玄関、坪庭方向を見る



⑤南側夜景



⑥寝室、造付けの畳ベッド下部は収納



⑦リビングからウッドデッキ、南方向を見る。内外が一体となる



②リフォーム前 南側外観



③リフォーム後 南側外観



④階段から畳部屋方向を見る



⑧リビングからキッチン・寝室方向を見る



⑨洗面から浴室方向を見る。浴室から南庭が眺められる



⑩畳部屋から中庭方向を見る



③リフォーム前 内部立飲みコーナー部分

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想 など

6人姉妹の子供がクライアント。高齢になる両親を引き取りとうと娘達が説得したが二人でこの家に最後まで住むというガンとして動かない。そこで、娘達がお金を出し合ってリフォームを決意。要望は、長年小さな酒屋を営んで来た家は床に段差があったりして、老人が暮らすには不自由なことばかりなので、老夫婦にとって住みよい家にしてほしい。1階を老夫婦の住まいに、2階は介護に来た娘が泊まれるように。時には家族皆が集まって会食でもできるように。又、建物南側の倉庫を解体して庭と駐車スペースがほしいなどであった。元の家には風呂がなく、銭湯に

通っており、高齢の夫婦にとって毎日が大変な作業。そこで南側に計画した庭に面して、洗面・トイレ・浴室を増築した。1階はやわらかな光を感じられる北側に寝室とトイレを、南側に開放的な空間になるようにリビングの上部を吹抜にして、大開口部から光や緑を取り込み、ウッドデッキや庭とが連結して内外が一体空間になるように計画した。2階は会食や将来介護などの為に二間続きの畳部屋とした。

施主の感想：おいしいちゃんがお風呂が一番いいといっていました。

特に配慮した住宅性能：築95年、4軒長屋の端を改装して酒屋と立飲み屋を5年前まで約40年営んできた建物は、通し柱の半数以上を切られて非常に危険な状態だった。まず建物の補強工事を完了した後、リフォームを行った。又、大きい荷物や、車イスで直接外部から入れるように、滑り戸を設け、受金庫をはずせば床がスロープになり、将来の介護に対応した。

データ

所在地	大阪府大阪市	構造／築後年数	在来木造	95年
該当工事面積	69.40 m ² ／総工事床面積	79.30 m ²	該当部分工事費	1,500万円／総工事費
居住者構成	15歳以上65歳未満： 人／65歳以上： 2人／15歳未満： 人／ペット：			
設計者	大西憲司設計工房	担当者	大西 憲司	
施工者	(株)匠家具工芸	担当者	廣瀬 淳一	

リフォーム前

リフォーム後

